

令和7年12月吉日

新入生保護者の皆さまへ

浮間中学校PTA

会長 光永 謙太郎

浮間中学校PTA入会のお願い

寒冷の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。皆さまにおかれましては日頃より浮間中学校PTAの活動にご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

さて、浮間中学校では、ご家庭と学校と地域の懸け橋となり、生徒の幸福な成長を図ることを主な目的として、私たち浮間中学校PTAが活動を行っています。コロナ禍で活動に制限が課されたものの、これを良い契機として活動内容について見直しを図り、組織体制等の改正を実施してきました。見直された内容の中には、必要性に疑問を感じながらも昔からの慣例で行ってきた内容も少なからずありました。一般社会では受容されない前時代的な慣習も以前はあったように聞いています。令和5年度より、委員制を廃止し、会費を減額するなど、会員の皆さまのご負担とならず参加しやすい組織となり、リスタートいたしました。入会に関しても、本来であればきちんと入会届等を提出していただき、入会の意思を確認しなければならないところ、様々な事情により怠っておりましたが、関係各位のご協力により、令和5年度より、入会届を整備することができました。

PTAという組織は、先述したとおりご家庭と学校と地域をつなぐ懸け橋となる団体です。学校というのは行政組織であり、国家権力の行使主体です。あつてはならないことですが、何か不公正・不適切な権力行使があった場合に、個人では対抗しがたくても団体として組織的行動ができるのがPTAです。また、学校側から見ても、家庭・地域からの無理な要求・要望がエスカレートして先生方が疲弊する事態のときに（あるいはそうなる前に）、間に入ることでできる団体の一つであると言えます。したがって、会員数が多いほど、団体としての発言力は強化されますし、少なれば弱まります。

成年年齢が18歳となった今、通常であれば高校在学中にお子さんが成人することになります。それだけ大人になるための準備期間が以前よりも短くなっているということです。中学生というのは、小学生時代と異なり、ほとんどの生徒が受験を意識した勉強にシフトしてきます。多くの中学校行事においても、主体的な学習のためという目的が優先され、中心となります。そのような状況において、ご家庭では集めきれない情報の共有や、学校の先生との個別的で繊細なコミュニケーションの一助となるべく、PTAも活動していければと考えています。様々なご意見があるかは存じますが、是非ご入会いただきますようよろしくお願い申し上げます。

なお、ご心配・ご不安があるかと思しますのできちんと明示いたしますが、保護者が入会しているかしていないかによって生徒たちの学校生活に直接的差異（何かがもらえる・もらえないといったようなもの）はありません。会員・非会員（つまり大人）の区別（情報提供の有無等）は生じますが、会員の生徒と非会員の生徒は差別いたしません。会則にあるとおり、浮間中学校PTAは浮間中学校の全生徒の幸福な成長を目的としています。ご理解賜りますようよろしくお願いいたします。

※ 入会届はご入学時（例年であれば入学式の後）にご提出ください。

※ このご案内のほか、会則集、入会届、Q&Aについて、浮間中学校のHPでご覧いただくことが可能です。ご活用ください。